

昭和 49 年(1974 年)から平成 22 年(2010 年)まで

○ 理科の研究をする

昭和 36 年(1961 年)ころから、日本中の学校で勉強する内容は、国で決められるようになりまし
ました。昭和 46 年(1971 年)ころには、アメリカが科学の発達に向けた勉強に力を入れてきたえい
きょうで、日本も世界の理科や算数を中心に勉強する内容がむずかしくなり、勉強する時間も、
小学校 6 年間で 5821 時間、国・算・理・社の合計時間 3941 時間となりました。

合川小学校では、昭和 50 年ころから、学校のまわりの植物を調べる学習を続け、昭和 55 年(1980
年)、勉強の様子を市内の先生がたに見てもらふ理科の研究発表会をし、ソニー理科教育振興資
金優良校として表彰もされました。その後、昭和 63 年(1988 年)から 昭和 2 年(1990 年)にかけ
ても、理科の研究がされました。

合川親子まつり(今の合川フェスティバル)が始まったのも、このころです。

○ たてわり班活動がはじまる

昭和 61 年(1986 年)ころには、全校児童数は 200 人以下でした。また、昭和 35 年(1960 年)以
降は各学年 1 組でクラス換えはなく、いっしょに勉強する友だちは 6 年間変わりません。そこで、
少ない人数を生かして全校みんながなかよく生活していくようにすることと、毎年班がえをして
新しい仲間と協力して活動していくことを目的に、この年から赤・青・黄・緑の 4 色団活動が始
まりました。

○ 体づくりに取り組む

平成 3 年(1991 年)と平成 4 年(1992 年)は、体力の向上のために体育の勉強や休み時間にいろ
いろな運動ができるようにしました。一輪車や三角木馬はこのころにそろえられたものです。ま
た、「青竹ふみ」の活動を始めたのもこの時です。

○ 英語の勉強をはじめ

平成 4 年(1992 年)からは、1. 2 年生の社会と理科はなくなり、「生活」の時間が始まりまし
た。このころは学習時間を少しへらしてゆとりをもって勉強するとともに、一人ひとりの考えを
大切にしたい勉強をしようとする考えでした。

また、このころは、ほかの小学校で英語は勉強していませんでしたが、合川小学校は国が進め
ていた英語の開発実験校をひきうけて、平成 6 年(1994 年)からは、英語の勉強を始めました。1
年から 6 年まで、いろいろな取り組み方で英語の勉強を進め、平成 10 年(1998 年)には、勉強の
様子を市内の先生がたに見てもらふ研究発表会をしました。

平成 12 年(2000 年)には、パソコン室ができて、10 台のパソコンが入りました。

○ 地域の人たちとのかかわりながら勉強をする

平成 14 年(2002 年)からは、4 年生以上で「総合的な学習の時間」が始まりました。これは、
学校の特色に合わせて、一人ひとりが調べ、まとめ、発表し合う活動を取り入れた勉強です。ま
た、土曜日が完全に休みになったこともあって、勉強時間は小学校 6 年間で 5367 時間、国・算・
理・社・生活の合計授業時数は 3148 時間で最も減りました。

合川小学校でも、地域の人とのつながりを大切にして、勉強をすすめました。矢橋征箕さんの
協力で全校で田植えや稲刈りをして米作りを勉強に取り入れ始めたり、環境について考える活動
で森本秀六さんたちの協力で EM 菌について学んだりし始めました。平成 15 年(2003 年)平成
16 年(2004 年)には、中の川流域の学校と協力して生き物の調査をしたり、学校周辺の生き物調
査をしたりしました。合川小学校の南の谷は自然が豊かで、ホトケドジョウ・カスミサンショウ

ウオ・豊年エビといっためずらしい生き物がいました。



ホトケドジョウ



カスミサンショウウオの卵塊



カスミサンショウウオ

合川親子祭りは、学級で子どもたちの手作りの物を売ったり、学習したことを発表したり、いろいろな取り組みがあり、親子で教室を回って楽しんでいました。このころ、名前も「合川フェスティバル」と改め、内容も学習してきたことを発表する場となりました。

合川地区老人会へ出かけて行って発表をするようになったのもこのころです。

また、合川小学校のある場所が夢窓国師の生まれた場所であることを調べ、昭和49年(1974年)に今の校舎が造られたときに、開山堂にまつられていた夢窓国師の像が天龍寺の中の弘源寺に引き取られたことがわかり、夢窓国師生誕史跡保存会の協力で、6年生が修学旅行で弘源寺を訪れることも始まりました。

○ 新しい学習がはじまる（基礎的な力をつける学習と外国語活動）

平成23年(2011年)からは、昭和50年ころから減り続けてきた授業時間がおよそ30年ぶりに増え、小学校の授業時数は6年間で278時間増えて5645時間となります。また、週1時間の外国語活動(英語)が始まります。

合川小学校は、平成15年(2003年)ころから国語や算数の勉強に力を入れてきました。平成21年(2009年)からは国語の勉強を中心に取り組みました。詩や百人一首を音読して全校の前で発表し合うこともしました。平成22年(2010年)からは毎週水曜日に20分間プリントやドリルを使って算数の勉強をする「赤丸学習タイム」を始め、月2回は地域のボランティアの人たち18人に○付けの協力をしてもらっています。

○ 地域ボランティアの人たちの協力で

平成20年(2008年)から、地域の人たち協力によって学校のいろいろな活動をささえてもらう目的で学校支援地域本部事業が始まり、中内滋さんを中心に多くの人たちに協力してもらうようになりました。平成22年(2010年)には、学習ボランティアとして、赤丸ボランティア18人、読み聞かせボランティア4人、学生ボランティア3人、除草作業など環境ボランティアとして33人、登下校の安全安心ボランティアとして47人の人たちに協力をさせていただきました。